

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134032114	ボランティア活動(介護等体験実習) Volunteer Activity	井上正英・片岡優介			1	選択	3後期

科目の概要

小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得希望者が特別支援学校および社会福祉施設で交流、介護、介助等を体験するものであり、大学内での事前指導および事後指導までを含めた科目である。介護等体験特例法により義務づけられた。障害のある人や高齢の方に対するさまざまな援助の活動を体験することにより、個人の尊厳や価値観の違いを認められる心を持った人づくりの実現に資することを目的としている。本科目は教育実習を実施する前段階としての学習内容を踏まえている。本学の教育モデル「学びの泉」の実践を通して、自ら学ぶ能力・ともに学ぶ能力を鍛え上げ、教員として必要な専門的知識・技能だけでなく一般的知識・技能を身に付け、人々の日常生活を衣・食・住および地域活性の面から支援することができること（DP1・2・3・4・5・6）を備えた家庭科教員となるためにも、この科目に真摯に向き合ってほしい。

学修内容	到達目標
① 介護等体験実習の目的を知り、実習の意義を理解する。 ② 特別支援学校ならびに障がい者・高齢者福祉施設について学び、その基本概念を理解する。 ③ 多様なコミュニケーションの方法について学び、実習において適切な方法を適用する。	① 介護等体験実習の目的と意義を獲得することができる。 ② 特別支援教育、障がい者・高齢者福祉の基本概念と実情について資料を活用することができる。 ③ 適切なコミュニケーション方法を選択し、実習における課題を解決することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて、確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に固定概念に捉われないことと、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章でまとめて表現することができる。
	傾聴力	グループワークを通して、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べ、相互交流することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：現代教師養成研究会（編）「教師をめざす人の介護等体験ハンドブック」 大修館書店 2020年

他科目との関連、資格との関連

本科目「介護等体験実習（2・3年）」は教職科目として配置され、教職入門・教育原理（1年）において基礎的理解を図り、その後に履修する教育方法論・生徒指導論（2年）・教育課程論・進路指導論（3年）において専門的理解を深めていく一連の学修をもとにした実習として位置づけ、さらに教育実習（4年）において実践的理解へと発展させていく。
 関連する資格：中学校教諭一種(家庭)

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 学外実習当日の忘れ物や遅刻を防ぐために、学外実習に参加する前に必要な準備は怠らないようにする。 レクリエーション等の準備は早めに、多めに行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学内の事前指導・事後指導に欠席する場合は事前に担当者へ申し出る。 学外の事前指導・事後指導に必ず出席する。 資料やテキストを熟読してレポートを作成した上で実習に臨む。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
		レポート	40	①		✓
	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓		・実習先の評価を尊重する。 ・学内外での事前指導及び事後指導へ怠りなく出席するとともに、問題なく実習を終えられたことを評価する。 ・学内外での事前指導・事後指導及び実習中に遅刻、無断欠席、実習意欲の欠如、忘れ物などが確認された場合は「放棄」と判定とする。
②			✓			
③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<small>（主体性）</small> 到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 <small>（実行力）</small> 課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 <small>（課題発見力）</small> 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 <small>（創造力）</small> 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。 <small>（発信力）</small> 整理した内容を的確な文章で表現できる。 <small>（傾聴力）</small> グループワークで、他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 <small>（規律性）</small> 無断欠席、遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・問題なく事前指導・事後指導、実習を行うことができる。 ・レポートにおいて介護等体験実習の意義と目的を説明することができる。 ・レポートにおいて障がい者福祉・高齢者福祉の基本概念を説明することができる。 ・レポートにおいて実習先への関心、実習への強い意欲、実習でのレクリエーション計画やコミュニケーション方法に関する具体的な工夫がみられる。 ・上記A（優）基準に達したことに加えて、実習前の事前指導の段階で、自分はどのような問題意識を持って実習を行い、どのような視点で観察するかを明確にすることができ、実習時の日誌においては感想ではなく考察を行い、実習後の段階でそれらの問題意識や観察の視点に対する考察を述べることで、全てができればS（秀）とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題なく事前指導・事後指導、実習を行うことができる。 ・レポートにおいて介護等体験実習の意義と目的を説明することができる。 ・レポートにおいて障がい者福祉・高齢者福祉の基本概念を説明することができる。 ・レポートにおいて実習先への関心、実習への意欲、実習でのレクリエーション計画やコミュニケーション方法がみられる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	特別支援学校における実習の事前指導 (1) 2年次 (井上・片岡) ガイダンス 介護等体験実習の目的を学ぶ (手引: 6ページまで)	講義 演習 google classroom	介護等体験実習の目的を説明することができる。	予習: シラバスを読んでおく。 復習: レポート課題1 (ABCD) を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	特別支援学校における実習の事前指導 (2) 2年次 (井上・片岡) 3年生による特別支援学校での実習報告を聴いて、実習のイメージを持つ。	講義 演習 google classroom	3年生による特別支援学校での実習報告を聴いて、実習で学ぶことができる。	予習: 2週目の授業時に指定されたテキストの範囲を読み、わかったことやわからなかったことを書き出す。 復習: レポート課題2 (EFG) を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	特別支援学校における実習の事前指導 (3) 2年次 (井上・片岡) 実習先の割振を提示 介護等体験実習の留意事項を学ぶ (手引: 7ページ～) 各自、勉強してきた内容をグループメンバーに報告して、テキストの基本情報・ポイントを学ぶ。	講義 演習 google classroom	特別支援学校や特別支援教育、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由の基本情報・ポイントを説明することができる。	予習: 3週目の授業時に指定されたテキストの指定された範囲を読み、わかったことやわからなかったことを書き出す。 復習: レポート課題2 (EFG) を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	特別支援学校における実習の事前指導 (4) 2年次 (井上・片岡) 実習にかかる書類の説明 各施設・学校における代表者の確認 巡回教員の確認・挨拶 実習先への事前訪問 各実習先の概要の発表 日誌の書き方 (手引14ページから)	講義 演習 google classroom	実習で準備することを説明することができる。実習先の概要を発表して説明することができる。	予習: 実習先の概要を調べてプレゼンテーション資料を作成する。 復習: プレゼンテーションの不足を追記して改善する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	特別支援学校での実習 (1) 巡回指導 (井上・片岡)	学外実習	特別支援学校において介護等体験を問題なく行うことができる。	予習: 手引を読み、必要なことを準備する。 復習: 実習日誌を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	特別支援学校での実習 (2) 巡回指導 (井上・片岡)	学外実習	特別支援学校において介護等体験を問題なく行うことができる。	予習: 手引を読み、必要なことを準備する。 復習: 実習日誌を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	特別支援学校における実習の事後指導 (井上・片岡) 実際に経験してみて感じたこと、考えたことを思い出してまとめなおす。	講義 演習 google classroom	特別支援学校での実習を報告し、実習の目標とその結果とその反省を行うことができる。	(予習) プレゼンテーション資料を作成する。 (復習) 発表後のコメントをふまえて、自己の課題を再整理する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	社会福祉施設における実習の事前指導 (1) 3年次 (井上・片岡) ガイダンス 介護等体験実習の目的を学ぶ (手引: 6ページまで)	講義 演習 google classroom	介護等体験実習の目的を説明することができる。	予習: シラバスを読んでおく。 復習: レポート課題1 (ABCD) を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	社会福祉施設における実習の事前指導(2)3年次(井上・片岡) 特別支援学校での実習報告を2年生に対して行い、振り返って課題を見直す。	講義 演習 google classroom	特別支援学校での実習報告を2年生に対して行い、振り返って課題を見直すことができる。	予習：特別支援学校での実習報告のプレゼンテーション資料を作成する。 復習：レポート課題2(EFG)を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	社会福祉施設における実習の事前指導(3)3年次(井上・片岡) 実習先の割振を提示 介護等体験実習の留意事項を学ぶ(手引：7ページ～) 各自、勉強してきた内容をグループメンバーに報告して、テキストの基本情報・ポイントを学ぶ。	講義 演習 google classroom	高齢者施設・児童養護施設などの社会福祉の基本情報・ポイントを説明することができる。	予習：10週目の授業時に指定されたテキストの指定された範囲を読み、わからなかったことを書き出す。 復習：レポート課題2(EFG)を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	社会福祉施設における実習の事前指導(4)3年次(井上・片岡) 実習にかかる書類の説明 各施設・学校における代表者の確認 巡回教員の確認・挨拶 実習先への事前訪問 各実習先の概要の発表 日誌の書き方(手引14ページから)	講義 演習 google classroom	実習で準備することができる。実習先の概要を発表して説明することができる。	予習：実習先の概要を調べてプレゼンテーション資料を作成する。 復習：プレゼンテーションの不足を追記して改善する。	45	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	社会福祉施設での実習(1)巡回指導(井上・片岡)	学外実習	社会福祉施設において介護等体験を問題なく行うことができる。	予習：手引を読み、必要なことを準備する。 復習：実習日誌を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	社会福祉施設での実習(2)巡回指導(井上・片岡)	学外実習	社会福祉施設において介護等体験を問題なく行うことができる。	予習：手引を読み、必要なことを準備する。 復習：実習日誌を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	社会福祉施設での実習(3)巡回指導(井上・片岡)	学外実習	社会福祉施設において介護等体験を問題なく行うことができる。	予習：手引を読み、必要なことを準備する。 復習：実習日誌を作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	社会福祉施設における実習の事後指導(井上・片岡) 実際に経験してみて感じたこと、考えたことを思い出してまとめなおす。	講義 演習 google classroom	社会福祉施設での実習を報告し、実習の目標とその結果とその反省を行うことができる。	(予習) プレゼンテーション資料を作成する。 (復習) 発表後のコメントをふまえて、自己の課題を再整理する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力